

当院では、下記の臨床研究を実施しています。研究概要は以下のとおりです。

**【研究課題名】**

内視鏡的寛解の潰瘍性大腸炎患者における寛解維持療法の違いと再燃の関係に関する研究

**【目的】**

潰瘍性大腸炎の病勢をコントロールするための治療目標は、症状が消失した状態である「臨床的寛解」から、近年は内視鏡的に大腸粘膜の炎症が抑えられた「内視鏡的寛解」へと変化しています。寛解導入後、基本薬（5-ASA など）のみで寛解維持をされている方と基本薬および抗 TNF- $\alpha$  抗体製剤（インフリキシマブ、アダリムマブ、ゴリムマブ）にて寛解維持をされている方の予後と比較し、内視鏡的な寛解を達成している症例において、寛解維持療法の違いによりその後の再燃のリスクが異なるのかを検討することを目的としています。

**【対象】**

2022 年 1 月までに当院に通院歴のある 16 歳以上の潰瘍性大腸炎の方

**【方法】**

診療記録より当院研究担当医師が情報を収集し、調査票へ入力します。入力したデータは当院内で、保管・解析されます。この研究成果は学会や学術雑誌などで発表することがあります。

**【個人情報の取り扱い】**

収集した情報は匿名化するため、氏名などの特定の個人を識別できるような情報が外部に漏れることはありません。

**【利用する試料・情報】**

診療記録（性別、生年月日、内視鏡検査時年齢、発症年月、罹患年数、罹患範囲、喫煙歴、治療歴、内視鏡検査所見、血液検査所見、再燃の有無 等）

**【研究期間】**

倫理委員会の承認が得られてから 2024 年 3 月 31 日まで

**【研究代表者】**

横浜市立市民病院 消化器内科 福田 知広

\*この研究は横浜市立市民病院のみで行います

**【研究責任者】**

横浜市立市民病院 消化器内科 福田 知広

**【連絡先】**

横浜市立市民病院 〒221-0855 横浜市神奈川区三ツ沢西町 1-1

電話 045-316-4580（病院代表） 消化器内科 福田 知広

この研究の対象となる方またはその代理の方で本研究への参加を希望されない方は、上記の連絡先へお申し出ください。その場合でも、対象となる方に不利益が生じることはありません。また、この研究の対象となる方またはその代理の方は、本研究の詳細（研究計画書及び研究方法に関する資料）を他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で入手・閲覧することができますので、ご希望の方はお申し出ください。